

日時 令和8年 10月30日(金)
15:30～17:00

場所 大分大学挾間キャンパス
(由布市挾間町医大ヶ丘1丁目-1)

演題 「コーヒーで世界を変える」
—世界のストリートスマートから学んだこと—

講師 José. 川島良彰氏

コーヒーハンター

講師プロフィール: 株式会社ミカフェート 代表取締役社長

一般社団法人日本サステナブルコーヒー協会理事長、
タイ王室メーファールアン財団コーヒーアドバイザー、
チャレンジコーヒーバリスタ実行委員長、JAL 日本航空コーヒーディレクター
1956年静岡市の焙煎卸業の家に生まれる。

1975年中米エルサルバドル国立コーヒー研究所に留学し、コーヒー栽培・精選を学ぶ。
その後、大手コーヒー会社に入社。ジャマイカ、ハワイ、インドネシアで農園開発を
手掛け、マダガスカルでの絶滅種の発見から『コーヒーハンター』と呼ばれるようになる。

レユニオン島では絶滅種ブルボン・ポワントゥを探し出し、同島のコーヒー産業復活を
果たす。

2007年サステナブルコーヒーの啓蒙のため、日本サステナブルコーヒー協会を設立。
2008年株式会社ミカフェートを設立。「コーヒーはフルーツである」ことを市場に問い
かけ、新しいコーヒー文化を提案。

タイ王室メーファールアン財団のアドバイザーとして、アヘン栽培地帯に住む少数民族
のコーヒーへの転作プロジェクトに携わる。

大盛の起きたルワンダでは、平和構築の一環としてJICAコーヒーサプライチェーン強化
プロジェクトを立ち上日本航空のコーヒーディレクターとして、機内のコーヒーの品質
向上に貢献。

また、国内外の福祉や持続可能な社会づくりにも深く注力しており、コロンビアでの知
的障がい者が働く農岡の支や女性生産者グループの活躍推進、さらには生産国と日本の
若者たちをコーヒーで繋ぐ育成活動を行っている。国内では2021年より際がいのあるバ
リスタの競技会「チャレンジコーヒーバリスタ」を開催し、雇用の可能性と自立を追水
し続けている。

『コーヒーで世界を変える』をミッションに、一杯のコーヒーを通じて、世界の貧困解
決、平和構築、そしてジェンダーや世代、降がいの有無を超えた共生社会の実現に挑戦
し続けている。

「コーヒーで読み解くSDGS」(ポプラ社)、「コーヒーと内戦」(平凡社)等、著者多数

